



# 玉龍院「五百羅漢像」

天保6年（1835）に京都で制作され海路酒田に入り、最上川を舟でのぼり玉龍院に搬入されたといわれ約180年以上もの間、大切に守り伝えられてきた文化遺産です。

平成28年度より修復を始め、このたび東日本大震災等で破損した「五百羅漢像」のうち約100体の修復を行います。修復作業を間近でご覧いただける修復作業公開を開催いたします。表情や袈裟が一体一体すべて異なる五百羅漢像と修復の様子をぜひご覧ください。

次  
の  
二  
百  
年  
へ

伝えられた歴史を  
未来へ伝える

## 修復作業公開

令和元年5月19日（日）見学無料  
午後1時00分～午後3時00分  
場所 玉龍院本堂（高島町大字金原430番地の2）



木製彫刻保存修復家 岡田靖氏

主催：玉龍院五百羅漢像補修事業実行委員会

問合せ先：玉龍院五百羅漢像補修事業実行委員会 電話 0238-52-4472 電話 0238-52-1357（玉龍院）